

ポーランド

2022年11月15日

海外調査部・ワルシャワ事務所

2021年の貿易は、輸出が前年比19.1%増、輸入が24.8%増となり、2004年のEU加盟以降最高額を更新した。直接投資額も、前年から大幅に増加し、対内直接投資では電気自動車用バッテリーの生産ラインの拡張、IT関連の新規投資、対外直接投資ではエネルギー関連のプロジェクト参画などの動きが目立った。対日輸出は前年比13.4%増で2004年以降の最高額を更新した。対日輸入は5.6%増となった。日本からの投資は自動車関連分野に加え、エネルギー、IT分野への投資もみられた。

■輸出入ともにEU加盟以降最高を更新、貿易収支は赤字に

2021年の貿易は、輸出が前年比19.1%増の2,858億200万ユーロ、輸入は24.8%増の2,863億6,100万ユーロとなり、ともにポーランドがEUに加盟した2004年以降の最高額を更新し、新型コロナウイルス感染拡大の影響による落ち込みから力強い回復をみせた。貿易収支は5億5,900万ユーロの赤字となり、前年の105億700万ユーロの黒字から大幅に減少した。

輸出を品目別にみると、最大品目である機械・輸送用機器（構成比37.0%）は、電気機械・同部品（9.6%）の前年比26.3%増が牽引し、17.6%増となった。2番目に輸出額が大きかった原料別製品（18.3%）も、非鉄金属（2.7%）の44.1%増と鉄および鉄鋼（2.3%）の49.9%増が牽引し、24.5%増と大幅に増加した。その他、雑製品（17.7%）の18.6%増、化学工業製品（9.8%）の20.9%増、食料品および動物（10.5%）の10.3%増などが輸出全体を下支えした。一方、飲料およびたばこ（1.9%）は0.3%減と減少した。

輸出を国・地域別にみると、EU（構成比74.8%）は前年比20.3%増と好調だった。そのうち、ユーロ圏（59.0%）は21.1%増で、最大の輸出先であるドイツ（28.7%）が18.0%増だった。同国向けの最大輸出品目である機械・輸送用機器（35.1%）が16.0%増、続く原料別製品（20.5%）が24.8%増と貢献した。その他、フランス（5.7%）の21.4%増、イタリア（4.6%）の27.1%増など、ユーロ圏の全ての国向けで拡大した。EUのうち、非

ユーロ圏（15.8%）は17.6%増だった。ドイツに次ぐ主要な輸出先であるチェコ（5.9%）が19.8%増と好調だった。

EU域外では、英国（構成比5.1%）が前年比5.8%増となったものの、これまで2018～2020年まで輸出先として維持していた3位の座をフランスに明け渡した。

表1 ポーランドの主要品目別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送用機器	89,892	105,687	37.0	17.6	83,192	98,491	34.4	18.4
原料別製品	42,078	52,381	18.3	24.5	37,823	50,515	17.6	33.6
雑製品	42,610	50,524	17.7	18.6	33,405	39,291	13.7	17.6
食料品および動物	27,185	29,997	10.5	10.3	17,823	19,088	6.7	7.1
化学工業製品	23,114	27,937	9.8	20.9	33,443	42,274	14.8	26.4
食用に適さない原材料	5,215	6,827	2.4	30.9	6,423	8,418	2.9	31.1
鉱物性燃料・潤滑油	3,557	5,954	2.1	67.4	11,902	17,714	6.2	48.8
飲料およびたばこ	5,337	5,322	1.9	△ 0.3	2,130	2,200	0.8	3.3
動植物性油脂およびろう	414	616	0.2	49.0	1,060	1,451	0.5	36.9
合計 (その他含む)	239,880	285,802	100.0	19.1	229,374	286,361	100.0	24.8

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。
[出所] ポーランド中央統計局 (GUS)

機械・輸送用機器 (38.4%) が10.6%増、雑製品 (15.2%) が9.6%増だった一方、飲料およびたばこ (1.8%) の38.1%減、特にたばこ・同製品 (1.3%) の45.5%減が響いた。英国に次ぐ輸出先のロシア (2.8%) は11.8%増、続く米国 (2.7%) は13.4%増となった。ウクライナ (2.2%) は20.2%増で、機械・輸送用機器 (5.4%) が22.5%増だったほか、化学工業製品 (6.1%) が24.2%増、雑製品 (7.5%) が24.3%増と貢献した。メキシコ (0.6%) は2.2倍に増え、機械・輸送用機器 (77.6%)

表2 ポーランドの主要国・地域別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年	2021年	構成比	伸び率	2020年	2021年	構成比	伸び率
EU	177,577	213,650	74.8	20.3	126,068	152,809	53.5	21.2
ユーロ圏	139,235	168,558	59.0	21.1	105,478	128,070	44.7	21.4
ドイツ	69,427	81,934	28.7	18.0	50,181	59,907	20.9	19.4
フランス	13,452	16,331	5.7	21.4	7,921	9,536	3.3	20.4
イタリア	10,375	13,186	4.6	27.1	11,786	14,280	5.0	21.2
オランダ	10,236	12,311	4.3	20.3	9,119	11,706	4.1	28.4
スペイン	6,084	7,189	2.5	18.2	5,093	6,170	2.2	21.1
非ユーロ圏	38,342	45,092	15.8	17.6	20,589	24,739	8.7	20.2
チェコ	14,063	16,847	5.9	19.8	7,306	9,075	3.2	24.2
スウェーデン	7,029	7,910	2.8	12.5	3,702	4,684	1.6	26.5
ハンガリー	6,094	7,131	2.5	17.0	3,698	4,322	1.5	16.9
英国	13,725	14,526	5.1	5.8	4,928	4,583	1.6	△ 7.0
ロシア	7,157	8,001	2.8	11.8	10,215	17,013	5.9	66.5
ウクライナ	5,259	6,323	2.2	20.2	2,593	4,251	1.5	63.9
アジア大洋州	7,759	8,745	3.1	12.7	54,097	67,985	23.7	25.7
中国	2,979	3,064	1.1	2.8	33,042	42,516	14.8	28.7
ASEAN	1,366	1,565	0.5	14.6	7,474	9,081	3.2	21.5
オーストラリア	821	990	0.3	20.7	281	477	0.2	69.9
インド	555	948	0.3	70.8	1,866	2,687	0.9	44.0
韓国	649	774	0.3	19.3	5,485	6,470	2.3	18.0
日本	647	734	0.3	13.4	4,241	4,480	1.6	5.6
米国	6,729	7,627	2.7	13.4	7,183	8,838	3.1	23.0
トルコ	2,232	2,650	0.9	18.7	3,980	5,225	1.8	31.3
メキシコ	722	1,588	0.6	119.9	629	703	0.2	11.8
サウジアラビア	984	776	0.3	△ 21.1	1,134	2,139	0.7	88.7
南アフリカ共和国	657	635	0.2	△ 3.3	325	410	0.1	26.3
ブラジル	390	549	0.2	40.7	1,246	1,406	0.5	12.9
合計 (その他含む)	239,880	285,802	100	19.1	229,374	286,361	100	24.8

〔注〕①EU 域外貿易は通関ベース、EU 域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

②アジア大洋州は、ASEAN + 6 (日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド) に香港および台湾を加えた合計値。

〔出所〕ポーランド中央統計局 (GUS)

の2.9倍、特に電気機械・同部品 (59.8%) が5倍近く伸びたことが大きく寄与した。

輸入を品目別にみると、最大品目である機械・輸送用機器 (構成比34.4%) が特に電気機械器具 (8.3%) の前年比21.3%増、道路車両 (7.8%) の21.1%増が寄与し、18.4%増となった。続く原料別製品 (17.6%) は、鉄・鋼鉄製品 (5.0%) の63.7%増が貢献して33.6%増、化学工業製品 (14.8%) は一次製品のプラスチック (3.3%) の54.0%増が寄与して26.4%増となり、輸入全体を押し上げた。

輸入を国・地域別にみると、EU (構成比53.5%) が前年比21.2%増となった。最大の輸入元であるドイツ (20.9%) が19.4%増、その他のEU加盟国も軒並み大幅に増加した。

EU域外では、ドイツに次ぐ輸入相手国である中国 (構成比14.8%) が前年比28.7%増と前年に引き続き好調だった。最大輸入品目の機械・輸送用機器 (55.6%) の30.9%増のみならず、続く雑製品 (26.3%) も24.9%増となり、中国からの輸入を牽引した。次いでロシア (5.9%) が66.5%増となった。また、ウクライナ (1.5%) は、原料別製品 (19.5%) が2.4倍、特に鉄・鋼鉄 (2.1%) が3.3倍に増加したことが寄与し、63.9%増と大きく伸びた。

2022年上半期の貿易は、輸出が前年同期比19.1%増、輸入が31.3%増と好調だった。輸出は原料別製品 (構成比19.3%) の25.7%増、輸入は鉱物性燃料・潤滑油 (8.7%) の2.2倍、原料別製品 (18.0%) の34.2%増がそれぞれ輸出入全体を押し上げた。

■電気自動車やエネルギー関連の投資が好調、グーグルは追加投資を発表

ポーランド国立銀行によると、2021年の対内直接投資 (国際収支ベース、ネット、フロー) は前年比83.7%増の279億1,100万ユーロとなり、2004年のEU加盟以降最高額を更新した。

2021年の主な対内投資案件をみると、電気自動車（EV）バッテリー分野やポーランドのエネルギー転換を見越したグリーン・エネルギーの新規および拡張・追加の投資が目立った。韓国のSK IEテクノロジーは2021年3月、EV向けリチウムイオンバッテリー用セパレータの生産工場を増設すると発表した。フランス電力公社（EDF）は、ポーランド政府が2020年10月に発表した2043年までにポーランドで2つの発電所（それぞれ3基ずつの原子炉）を建設する「ポーランド原子力エネルギープログラム」を受け、参入に向けて拠点を開設することを2021年7月に発表した。IT分野では、米国グーグルが2022年3月に、2021年4月の投資（20億ドル）に続いて、7億ドルの追加投資を発表し、ポーランドを中・東欧地域のハブとして強化する。

ポーランド投資・貿易庁（PAIH）が支援し実現した2021年の対内投資案件は97件だった。企業が申告した投資予定額は合計35億4,015万ユーロに上り、過去最高となった。国別では、ベラルーシが37件、米国11件、ドイツ6件、中国6件、韓国5件、オランダ4件の順に多かった。政府による情報通信技術（ICT）の専門技術者や企業を対象としたポーランドへの移転をサポートする「ポーラン

表3 ポーランドの対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万ユーロ)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
対内直接投資額	10,182	14,805	14,971	15,190	27,911
対外直接投資額	3,431	1,951	4,593	4,053	7,061

〔出所〕ポーランド国立銀行（NBP）

表4 ポーランドの主な対内直接投資案件（2021年～2022年4月）

＜M&A以外＞

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
IT	グーグル	米国	2021年4月 2021年10月 2022年3月	20億ドル 非公表 7億ドル	グーグルはワルシャワに、2021年4月に中・東欧地域で初の「グーグル・クラウド・リージョン」を開設。同年10月に欧州最大のクラウド技術開発センターをワルシャワ中心地に位置するオフィスビル「ワルシャワ・ハブ」に開設することを発表した。さらに、2022年3月に「ワルシャワ・ハブ」拡張のため7億ドルの追加投資を発表。中・東欧地域のハブとしてポーランドへの投資が続いている。
電池素材	SK IEテクノロジー	韓国	2021年3月	1兆1,300億ウォン	SK IEテクノロジー（SKIET）はEV向けリチウムイオンバッテリー用セパレータの生産工場を増設すると発表。2021年第3四半期（7～9月）に着工し、2023年第4四半期（10～12月）～2024年第2四半期（4～6月）までに量産開始予定。
エネルギー	フランス電力公社	フランス	2021年7月	非公表	フランス電力公社（EDF）はワルシャワにオフィスを開発することを発表。今後ポーランドで建設が予定されている原子力発電所について、ポーランド市場に合わせた包括的な提案の準備に注力している。
車載用電池	ノースボルト	スウェーデン	2021年4月	2億ドル	リチウム電池メーカーノースボルトはポーランド北部グダニスクに、5万平方メートルの蓄電システム工場を新設すると発表。当初の生産能力は5ギガワット時相当で、将来的には12ギガワット時まで引き上げる方針。

＜M&A＞

業種	被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍	国籍			
保険	アビバPLC	アリアンツ	ドイツ	ドイツ	2021年11月	27億ユーロ	アリアンツはアビバグループのポーランドとリトアニアにおける事業買収の完了を発表。この買収によりアリアンツはサンタンデル・バンク・ホルスカとの生保・損保パンカシエランス合弁事業の株式をそれぞれ51%取得する。
通信	イリアド	セルネックステレコム	スペイン	スペイン	2021年4月	8億ユーロ	セルネックスはポーランドの通信サービス会社ブレイが所持する通信基地のネットワークの買収を完了。通信基地を管理する会社イリアドの60%の株式を取得。
紙パルプ	インターナショナル・ペーパー（ポーランド）ホールディング	マイヤーメルンホフ	オーストリア	オーストリア	2021年8月	約6億7,000万ユーロ	マイヤーメルンホフは、ポーランドのクイチン市で段ボールやコピー用紙を製造するインターナショナル・ペーパー（本社：米国）の工場の買収を完了したと発表。競争力の強化や提供するサービスの幅の拡大を図る。
不動産	ロビック	TAGイモビリエン	ドイツ	ドイツ	2021年12月	約5億5,000万ユーロ	TAGイモビリエンはポーランドの賃貸用不動産業における最大手プロバイダーを目指し、住宅用不動産開発最大手のロビックを買収すると発表。
エネルギー	EDPリニューアブルズ・ポーランド	ミロバ	フランス	フランス	2022年4月	2億9,800万ユーロ	EDPリニューアブルズは、ポーランドの149MW規模の風力発電ポートフォリオの株式100%をミロバに売却したと発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

ド・ビジネスハーバー」プロジェクトがベラルーシの件数の増加に大きく寄与した。分野別では、ビジネスサポートセンター42件（IT33件、シェアードサービスセンター9件）、研究開発（R&D）7件、自動車6件、医療5件、EV5件、エレクトロニクス5件となった。国別の投資額では、韓国が最大で、次いでドイツ、米国が続いた。

表5 ポーランドの主な対外直接投資案件（2021年～2022年4月）

＜M&A以外＞						
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要	
エネルギー	PKN オルレン	リトアニア	2021年10月	6億4,100万ユーロ	リトアニア最大のマジョイケイ製油所に深層油処理設備を建設すると発表。2024年末の完成予定。同製油所の収益性を高め、地域のエネルギー安全保障の強化も担う。	
エネルギー	アール・パワー	ドイツ	2021年7月	非公表	太陽光パネルなどの再生可能エネルギープロジェクトを扱うアール・パワーはドイツにおける太陽光発電の有力パートナーと、80MWpの太陽光発電パネルのプロジェクトに署名した。	
アパレル	CCCグループ	ハンガリー オーストリア クロアチア チェコ スロバキア	2021年8月 2021年8月 2021年9月 2021年10月 2021年12月	非公表	ポーランドを代表するアパレル企業の一つであるCCCグループの子会社ハーフ・プライス（Half Price）は、海外初店舗を2021年8月にハンガリーで展開したことを皮切りに、同月にオーストリア、9月にクロアチア、10月にチェコ、12月にスロバキアの各国で初店舗を続々とオープンし、中・東欧諸国への進出を加速している。ハーフ・プライスはさまざまなブランド商品をメーカーと直接取り引きすることで、低価格販売を実現している小売業態。	
＜M&A＞						
買収企業	被買収企業（事業）			時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
アレグロ	小売	モール・グループ ウィー・ドゥー	チェコ	2022年4月	8億8,100万ユーロ	ポーランドのEC大手アレグロ・グループはチェコのECモール・グループと物流ウィー・ドゥーの買収を完了。EU市場でのオンライン販売拡大を目指す。
インポスト	物流	モンディアル・リレー	フランス	2021年7月	5億1,300万ユーロ	EC宅配業者大手のイン・ポストはフランスの宅配便大手モンディアル・リレーの買収を完了。フランスのEC市場の事業拡大を目指す。
シントス	合成ゴム素材	トリンセオ	ドイツ	2021年12月	4億9,100万ドル	世界の合成ゴム市場の主要企業であるシントスは、プラスチック、ラテックスバインダー、合成ゴムの世界的素材メーカーであるトリンセオがドイツ・シュコパウに保有する合成ゴム事業の買収を完了した。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

2021年の対外直接投資は70億6,100万ユーロ、前年比で74.2%の大幅増となった。エネルギー最大手のPKNオルレンは2021年10月、6億4,100万ユーロを投じて、リトアニア最大の製油所で深層油処理設備を建設することを発表した。アール・パワーは太陽光パネルの開発について、ポーランド、ポルトガル、イタリア、スペインに続き、7月にドイツ市場に参入することを表明した。ポーランド最大手のアパレル企業であるCCCグループの子会社ハーフ・プライスは8月にハンガリーにおいて初の海外店舗を展開させたことを皮切りに、2021年末までにオーストリア、クロアチア、チェコ、スロバキアでそれぞれ初店舗を続々とオープンさせた。

■対日貿易額も輸出・輸入ともに増加

2021年の対日貿易は、輸出が前年比13.4%増の7億3,400万ユーロ、輸入が5.6%増の44億8,000万ユーロとなり、輸出入ともに増加した。貿易赤字は前年の35億9,400万ユーロから37億4,600万ユーロに拡大した。

対日輸出を品目別にみると、最大の品目である機械・輸送用機器（構成比48.3%）が前年比5.0%増だったほか、食料品および動物（12.5%）が67.8%増、雑製品（12.8%）が22.3%増、化

表6 ポーランドの対日主要品目別輸出入＜通関ベース＞

（単位：100万ユーロ、%）

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2020年 金額	2021年 金額	構成比	伸び率		2020年 金額	2021年 金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	338	354	48.3	5.0	機械類・輸送用機器	2,116	2,322	51.8	9.7
原料別製品	97	103	14.0	5.9	雑製品	974	920	20.5	△ 5.5
雑製品	77	94	12.8	22.3	化学工業製品	796	773	17.2	△ 3.0
食料品および動物	55	92	12.5	67.8	原料別製品	250	367	8.2	47.0
化学工業製品	43	57	7.8	33.7	食用に適さない原材料	89	80	1.8	△ 10.4
食用に適さない原材料	35	29	4.0	△ 16.1	その他	9	10	0.2	11.1
鉱物性燃料・潤滑油	1	3	0.4	175.5	食料品および動物	4	5	0.1	24.4
合計（その他含む）	647	734	100.0	13.4	合計（その他含む）	4,241	4,480	100.0	5.6

〔出所〕ポーランド中央統計局（GUS）

学工業製品（7.8%）が33.7%増と、輸出全体を押し上げた。

対日輸入を品目別にみると、最大の品目である機械・輸送用機器（構成比51.8%）が前年比9.7%増、原料別製品（8.2%）が47.0%増と輸入全体の伸びに寄与した。一方、雑製品（20.5%）と化学工業製品（17.2%）はそれぞれ5.5%減、3.0%減と振るわなかった。

■日本企業も自動車・エネルギー・IT関連の投資を拡大

2021年の日本からの主な投資案件をみると、これまでの自動車関連分野のみならず、エネルギーやIT分野への投資もみられた。カジマ・ヨーロッパは2021年11月、再生可能エネルギー発電施設開発のデベロッパーであるポーランドのパドレスの株式を約70%取得し、同事業に参画すると発表した。また、マイナビは11月、IT・人工知能（AI）人材に特化した採用プラットフォームを開発・運営するポーランドのHR企業チャレンジロケットへの出資を発表した。2022年に入ってから、日立の子会社であるグローバルロジックが1月にヴロツワフのオフィスを拡大し、今後2年間で新たに500人のエンジニアの雇用を予定していることを発表。ニッポンセイキ・ポーランドは5月、同社初の使用電力が100%再生可能エネルギーの工場自動車向けのヘッドアップディスプレイの量産を開始した。

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：3,808万人（2021年）			
②面積：32万2,719km ²			
③1人当たりGDP：1万7,815米ドル（2021年）			
④実質GDP成長率（%）	4.7	△ 2.2	5.9
⑤消費者物価上昇率（%）	2.3	3.4	5.1
⑥失業率（%）	5.2	6.3	5.4
⑦貿易収支（100万米ドル）	1,699	14,379	△ 315
⑧経常収支（100万米ドル）	2,832	17,319	△ 4,568
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	117,196	140,316	152,522
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	354,980	375,353	365,026
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ズロチ、期中平均）	3.84	3.90	3.86

〔注〕⑦：財のみ、⑦⑧：国際収支ベース
〔出所〕①②④⑤⑥：ポーランド中央統計局（GUS）、③⑨⑪：IMF、⑦⑧⑩：ポーランド中央銀行（NBP）

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp